

10 教育費 1 教育総務費

1 教育実践研究奨励等経費

市内小・中学校の教育レベルを高めるため、実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成する。

事業内容 研究主題に基づく研究、成果の公開研究会、研究紀要作成

実施校 新規4校 継続4校

2 スクールカウンセラー活動経費

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動について、臨床心理士などの専門家を学校に配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図る。

配置校（拠点校方式） 西陵中学校、緑陽中学校

3 心の教室相談員活動経費

生徒が悩み等を気軽に相談し、ストレスを和らげることのできる第三者を生徒の身近に配置し、生徒が心のゆとりを持てるような環境を提供する。

配置校 幌別中学校、鷺別中学校、登別中学校、緑陽中学校

4 子どもと親の相談員活動経費

小学校に「子どもと親の相談員」を配置し、不登校などの早期発見・早期対応や未然防止に関する調査研究を実施する。

配置校 幌別西小学校

5 言語障害通級指導教室運営経費

言語治療を必要とする幼児・児童を対象に、ことばの教室を開設し、言語障害児教育の充実・伸展を図る。

幼児部・小学部の入級判定、保護者との教育相談、言語指導

6 不登校・いじめ等対策経費

不登校やいじめ等の対策のため、専門相談員による相談や研修会の開催、広報誌による啓発などを行う。

主な事業内容

教育相談、いじめ相談電話		専門相談員2名	月～金 9:00～17:00
不登校・いじめ等対策会議	年2回	教職員を対象とした研修会	年2回
父母懇談会の開催	月の第2火曜日	ふれあいサポート懇談会	年2回
「いじめ学習資料」の配布	年1回	広報誌「手をつなぐ親と子」	年3回

7 教育研究会運営事業補助金

教職員の職務遂行上必要な専門性の維持向上を図る。

8 特殊教育振興費

心身に障がいのある児童生徒の能力と個性を最大限に伸ばし、将来社会人としての自立と参加を目指すため、特殊教育指導内容の研究と実践を図る。

9 小中学校情報教育推進事業費

小中学校の情報教育の推進を図るため、年次的にパソコン等の情報通信機器の整備を図る。

パソコン設置台数 小学校 174 台・中学校 205 台・学校事務用 13 台
教員用 270 台・学校図書館用 13 台・サーバ 21 台 計 696 台

10 自然体験学習推進経費

自然体験を通して、児童・生徒の自主・自立を育てる。

11 特色ある学校づくり推進経費

登別温泉入浴体験事業

参加対象児童 442 名（各小学校 3 年生）

総合的な学習活動研究推進事業

自由な学習環境の中で学ぶ総合学習の推進を図る。

生活科実施等経費

対象学校数 8 校（全小学校） 事業内容 動物の飼育・学校菜園

12 学習状況調査研究経費

教職経験者等の地域の人材を活用し、学力向上のための実践的な調査研究を行い、その成果の普及を図る。

実施校 鷺別中

13 外国青年招致経費

生きた英語を指導する外国人英語指導助手（A E T）を活用し、英語を使ったコミュニケーション能力の育成などを図る。

事業内容

中学校での英語指導、市民対象の英会話教室

小学校での交流、地域住民等との交流

14 姉妹都市小中学校交流事業補助金

白石市との姉妹都市締結を契機に、児童生徒の相互交流を図るため、小中学校交流事業を実施。

平成 19 年度事業の内容

ふるさと豆記者訪問事業

実施日 平成 19 年 8 月

事業内容 市内小学校の児童が宮城県白石市を訪問し、相互交流を図る。

ふるさとのまちを語る交流事業

実施日 平成 19 年 10 月

事業内容 宮城県白石市の中学生 2 名が市内中学校を訪問し、相互交流を図る。

15 子ども地域交流プラザ事業補助金

『ふれあい体験』や『ふるさとゼミ』『ふれあい学習』などの事業を行っている登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付する。

事業内容

ふれあい農園、巡視船体験乗船、自然体験学習等

16 生涯学習推進経費

市民が、生涯を通じて学習活動を行うことができる環境を整え、生涯学習社会の実現を目指す。

生涯学習情報の提供

生涯学習ニュース（明日をひらく窓） 生涯学習情報

生涯学習ガイド

生涯学習人材バンクハンドブック

生涯学習フェスティバルの開催

各種会議の開催

生涯学習連絡会の開催 市内小中学校と教育委員会・市長部局との意見交換

17 教育財産管理委託料（市民会館・鷺別公民館・総合体育館・陸上競技場）

社会教育施設の運営管理を指定管理者に委託し、市民の活発な文化、スポーツ活動が行われる環境を整える。

18 教育施設水洗化事業費

公共下水道の供用開始区域内の公共施設について、年次的に水洗化を実施する。

実施箇所 登別小学校

19 児童生徒健康診断等経費

市内の小中学校の児童・生徒の健康管理のため健康診断を行う。

結核検診（全員）、心臓検診（小1・中1）、ぎょう虫卵検査（小1～小3）、

尿検査（全員）、内科検診（全員）、歯科検診（全員）、眼科検診（小1・中1）、

耳鼻科検診（小1・中1）

新入学対象予定者 442名

20 学校医等表彰経費

児童・生徒等の健康増進と保健教育の振興に貢献した学校医等に対し、その功績をたたえ表彰する。

10年表彰 2名 20年表彰 1名

21 私立高等学校教育振興補助金

入学金の一部を助成し、私学教育の振興を図る。

22 スクールバス運行経費

札内町・来馬町に居住する児童生を幌別小学校、幌別中学校へ、登別温泉地区・中登別地区に居住する児童を登別小学校へ送迎するため、スクールバスを運行する。

23 児童生徒遠距離通学費補助金

バスで通学する小・中学生の保護者の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付する。

補助対象人員 小学校 2校 30名 中学校 3校 115名

10 教育費 2 小学校費

1 特別活動推進経費

学校の実態や児童の発達段階などを考慮し、児童による自主的・実践的な活動を助長する。

2 特別支援教育推進経費

心身に障がいのある児童の障害の状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援する。

3 要保護・準要保護児童就学援助費

経済的な理由により就学が困難と認められる児童の保護者に、就学に必要な援助を行う。

小学校 498名

4 特殊教育就学奨励費

特殊学級に就学している児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助する。

対象人員 小学校 29名

10 教育費 3 中学校費

1 特別活動推進経費

学校の実態や生徒の発達段階などを考慮し、生徒による自主的・実践的な活動を助長する。

2 特別支援教育推進経費

心身に障がいのある生徒の障害の状況を的確に把握し、一人ひとりの自立心を最大限伸ばせるよう支援する。

3 中学校体育連盟助成金

スポーツを通して他校と交流・親睦を深める。

4 登別中学校暖房設備整備事業費

老朽化の著しい登別中学校の暖房設備を改修し、教育環境の改善を図る。

5 要保護・準要保護生徒就学援助費

経済的な理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に、就学に必要な援助を行う。

中学校 293名

6 特殊教育就学奨励費

特殊学級に就学している生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な費用を援助する。

対象人員 中学校 10名

10 教育費 4 社会教育費

1 市民生涯学習推進講座経費

生涯学習の推進を図るため、「ときめき大学」や「婦人短期大学」などの事業を実施する。

ときめき大学 4年制、月1回程度の学習会、専修課程（グループ学習）
婦人短期大学 2年制、教養コース（必修）・選択コース（1コース以上選択）
家庭教育学級 12学級（市内私立幼稚園・小学校）
市民マイプラン講座 市民が自主的に行う学習会等への支援事業

2 三市合同女性国内派遣研修負担金

地域で活動している女性を先進地に派遣し、全国各地における女性の社会参加や地域活動、学習活動について研修を行う。

期 日 平成19年8月下旬
場 所 埼玉県嵐山町外
派遣人員 3名

3 登別市文化・スポーツ振興財団運営補助金

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団の管理運営に係る経費を補助する。

4 登別市文化・スポーツ振興財団事業補助金

財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が行う文化・スポーツ事業を補助する。

文化振興事業

文化教室開催事業 8事業

（初心者英会話教室、フラワーアレンジメント教室等）

芸術鑑賞事業 2事業

（道新ジュニアクラシック札幌コンサート、よしもとお笑いライブ）

共催事業 3事業

（文化講演会、市民文化祭、小中学生書初展）

スポーツ振興事業

スポーツ教室開催事業 10事業

（テニス教室、親子パークゴルフ教室等）

スポーツ大会開催事業 3事業

（キンボール大会、市民ソフトボール大会（2回））

共催事業 3事業

（軽スポーツ指導者派遣事業、市民ゲートボール大会、市民ミニバレー大会）

5 P T A 連合会助成金

子どもたちの健全な成長を願い、各単位 P T A が相互に連携して開催する研修会等の活動を支援する。

6 婦人研修の家維持管理経費

市内 8 箇所の婦人研修の家の維持管理を行う。

7 公民館運営管理経費

公民館（登別、登別温泉）の運営管理にかかる経費。

また、平成 19 年度は、鷺別公民館の放送機器の取替えや駐車場拡充整備を行う。

8 図書館運営管理経費

図書資料の整備をはじめ、『小・中学生の読書感想文・読書感想画コンクール』や『文化講演会』などの読書推進事業を行う。

○購入図書予定冊数 5,500 冊

○主な主催行事・事業

文化講演会

小・中学生の読書感想文・読書感想画コンクール

年長児の読書感想画募集

児童室行事

新刊図書案内の発行

児童室だよりの発行

9 移動図書館車運行業務委託料

移動図書館車の効率的な運行と巡回サービスの向上を図るため、運行業務を委託する。

年間運行予定日数 224 日

10 図書館システム更新経費

図書館システム機器等が、耐用年数を超えたため更新する。

11 青少年育成指導経費

青少年の非行防止を図るため、補導センターや青少年問題協議会を運営し、専任補導員や補導委員による巡回、育成だよりの発行などを行う。

青少年問題協議会（委員 15 名）

青少年補導センター・青少年補導委員（委員 62 名）活動

12 成人祭経費

登別市成人祭実行委員会主催による成人祭を開催する。

期 日 平成 20 年 1 月 13 日（予定）

対象人員 600 名

- 13 少年の主張大会経費
中学生が、日常生活の体験や日ごろ考えていることを広く訴える
期 日 平成 19 年 6 月
場 所 鷺別中学校
発表者数 12 名（各中学校 2 名）
- 14 子ども会活動振興助成金
登別市子ども会育成連絡協議会が主催する『こいのぼりマラソン大会』や『かるた大会』などの活動を支援する。
団体数 47 団体（9 地区連盟）
- 15 郷土資料館運営管理経費
郷土の歴史、民俗、産業、文化に関する資料を収集、保管、展示する。
- 16 三市合同文化事業負担金
三市広域行政における芸術文化振興事業として実施する。
- 17 中学校音楽祭経費
市民会館大ホールを会場に、市内中学校の代表クラスや合唱部、吹奏楽部などの生徒が、合唱や合奏など、日ごろの練習の成果を披露する。
期 日 平成 19 年 10 月上旬
会 場 市民会館大ホール
参加校 6 校
- 18 文化財保護経費
登別市文化財審議会の開催と文化財保護に関する調査研究を行う。
- 19 文化伝承館運営管理経費
郷土の歴史や文化に関する講習会、研究会、体験学習等を開催する。
- 20 文化振興助成金
『市民文化祭』や『胆振芸術祭』、『文化表彰』などを行っている登別市文化協会の活動を支援する。
団体数 35 団体 約 2,200 名
- 21 児童生徒文化振興助成金
市内の小・中学校、高等学校に在籍する児童・生徒が、全道・全国大会に出場する際に、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する。
- 22 のぼりべつ文化交流館開設経費
平成 19 年 6 月に開館するのぼりべつ文化交流館に係る展示用備品等を購入する。

23 ネイチャーセンター運営管理経費

ネイチャーセンターを拠点に鉱山地区の自然を活用した自然体験活動を推進し、市民の自然に関する意識の高揚を図る。

平成19年度より指定管理者に運営管理を委託する。

10 教育費 5 保健体育費

1 体育指導委員会経費

生活に直結した体育・スポーツの振興を図ることを目的として設置(スポーツ振興法)。スポーツ振興の進行役、コーディネーターとしての役割を担う。

委員数 15名

事業内容 市民ラジオ体操会・市民体カテスト会
文化スポーツ振興財団事業等への協力
各種講習会等での指導

2 学校開故事業費

スポーツを通じて市民の健康増進と交流を図る。

屋内体育館

開放校 10校

開放期間 平成19年4月中旬～平成20年3月下旬

利用団体 68団体 (平成17年度実績)

利用者数 37,167名 (平成17年度実績)

3 生涯スポーツ振興及びスポーツ関連団体の育成経費

市民のラジオ体操会や体カテスト会、スポーツ団体などの指導者育成研修を行う。

4 三市スポーツ大会事業費

三市広域行政における小中学生を対象とした青少年健全育成事業の一環として実施する。

陸上競技大会(夏季)

期日 平成19年8月上旬 場所 室蘭市入江陸上競技場

参加対象 対象小学校4～6年生

歩くスキー大会(冬季)

期日 平成20年2月上旬 場所 登別市鉱山町(ネイチャーセンター周辺)

参加対象 小学校5～6年生

5 体育協会助成金

スポーツの振興を図る登別市体育協会の活動を支援する。

加盟団体 21団体 加盟者数 4,769名

6 スポーツ少年団育成助成金

リーダー養成事業や競技別交流会などを行う登別市スポーツ少年団の活動を支援し、スポーツの振興を図るため、助成金を交付する。

加盟団体 21 団体 加盟者数 449 名

7 児童生徒スポーツ振興助成金

市内の小・中・高校に在籍する児童・生徒及び市内のスポーツ団体に所属する児童・生徒が全道及び全国大会に参加する際、保護者の負担を軽減するため、経費の一部を助成する。

8 姉妹都市スポーツ交流事業助成金

姉妹都市の宮城県白石市とスポーツを通して交流を深めるため、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流団』と『姉妹都市国際親善水泳大会参加交流団』の活動を支援する。

平成 19 年度登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流事業武道大会

開催日 平成 19 年 8 月頃予定

場 所 登別市

登別市からの参加者 36 名

姉妹都市国際親善水泳大会

開催日 平成 19 年 10 月上旬（予定）

場 所 スパッシュランドしろいし（白石市）

登別市からの参加者約 20 名

9 青少年会館運営管理経費

市内 4 か所にある青少年会館を運営管理し、市民の利用促進を図る。

10 市民プール運営管理経費

市民の幅広いニーズに対応して公認競技用プールの機能、アクアスポーツ普及のための機能及び水の効能を生かした健康増進機能を確保することにより、市民の健康増進と余暇の健全な活用を図る。

11 市民プールバスパック業務委託料

市民プール利用者増を図るため、路線バス運賃とプール入館料をセットしたバスパックを実施する。